



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年3月31日

組合員の健康意識向上を目指して QOL健診を初開催

組合では2月8日(水)に、問屋町会館でQOL(Quality Of Life)健診を初開催した。

QOL健診とは弘前大学が開発した即日2時間で測定・結果通知・健康教育までを完結させるコンパクト型の健診プログラムである。通常の健診診断では後日結果が届く頃

には健康への関心が薄れてしまったり、結果の捉え方がわからなかったりして生活習慣の改善につながりにくいといったこれまでの健康診断の問題を克服するための啓発型健診となっている。

今回健診を担当したのは青森県医師会健やか力推進センター。測定機器等を問屋町会館に持ち込み、検査1時間、講義1時間の2時間1クールを全3クール実施し、組合員従業員ら78名が受診した。

QOL健診の検査項目は、体組成、血圧、内臓脂肪、野菜摂取量、骨密度、握力、立ち上がり、2ステップ、唾液、血液(健康診断の結果を利用)など多岐にわたる。測定後は健康講義が実施され、弘前大学の中路特任教授がメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームなどの生活習慣病を予防するために必要な知識を紹介。その後、受診者に健診結果が手渡され、同大学の植村助教が健診結果の見方について詳しく説明した。今後は、受診者に対して健康づくりに関するフォローアップ教材が月1回、10ヵ月

にわたって提供され、ヘルスリテラシー向上を目指す。参加者は普段の定期健康診断では実施しない各種測定を楽しみながら体験。「体を動かしながら楽しく健診を受けることができ、結果がすぐ見ることができてわかりやすい。あまり



2ステップテスト



血圧・野菜摂取量測定



握力測定



立ち上がりテスト

QOL健診



健診結果はその場で通知

当日は来場時間をあらかじめ指定していたため待ち時間もなく、申請にかかった時間は1人約10分。おおよそ2ヵ月後に出来上がったマイナンバーカードが自宅に郵送されることもあり、利用者には大変好評であった。



マイナンバーカード出張申請受付

問屋町でマイナンバーカード出張申請受付

青森市では2月16日(木)に問屋町会館にてマイナンバーカードの出張申請受付を行い、組合員従業員やそのご家族20名が利用した。



中路教授による健康講義



メディアの取材も入る

2023年度事業計画
など承認

第9回理事会

2023年度事業計画などを審議する第9回理事会が2月27日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、除雪費の中間報告やSDGs推進活動の実施状況、事業計画立案アンケートの調査結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、2023年度事業計画立案に向けて組合員を対象にアンケート調査を実施

無料特別セミナー開催
問屋町ビジネススクール

2月21日(火)に問屋町会館2階大会議室にて、問屋町ビジネススクールの無料特別セミナーが開催された。

同セミナーは翌年度に向けた講座のオンライン配信テストも兼ね、会場受講とオンライン受講のハイブリッドで実施。会場で25名、オンラインで15名、合わせて40名が受講した。

セミナーの講師は、岡山県で経営コンサルティングを営む、中小企業診断士である蓮室光雄氏が務め、「中小企業



講師を務めた蓮室氏



オンライン配信も実施

のための決算書から作る目標管理」をテーマに決算書の読み方のポイントや経営計画を策定して目標管理する一連の作業について解説した。

蓮室氏は「今や決算書を読むことは経営者および管理者

組合では2023年度の事業計画立案に向けて組合員を対象にアンケート調査を実施

2023年度事業計画立案
アンケート結果まとめ

案件二、事業委員会からの意見について

案件三、賃貸組合員の合併について

案件四、組合施設の売却について

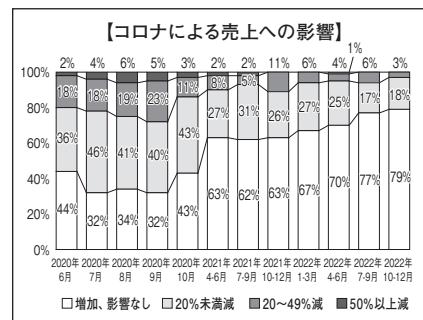
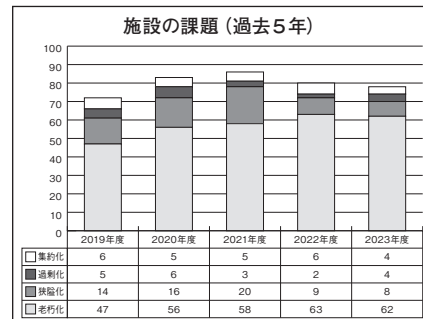
案件五、団地外用地の取得及び取得資金の借入について

案件六、組合員跡地買取資金の借換について

案件七、2022年度第10回理事会の日程等について

し、132社から回答を得た。調査結果は次のとおり。

組合員施設の課題については、これまで同様「老朽化対策」が最多で62社。10社が3年以内の新築や増改築を計画していると回答した。

会員企業が自社サービス紹介
青友会親睦交流会

2月22日(水)に、問屋町の支店や営業所の責任者で組織される問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第32回親睦交流会がホテルアラスカで開催され、同会会員ら18名が参加した。

同会の佐々木会長による挨拶で交流会はスタート。今回から新たな試みとして、会員企業による「自社PRタイム」を企画。会員を代表してコセキ(株)、(株)金入、(株)新開トランスポートシステムの3社が、自社の事業内容や一押し



青友会で会員企業が自社PR

人と大地のハーモニー
ISEKI

農業機械販売

株式会社 中セ本東北

青森支社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目11-23

TEL 017(738)1331 FAX 017(738)8834



事務機のコンサルタント

青森精機株式会社

本社 030-0131 青森市問屋町二丁目12番23号
TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856

十和田営業所 034-0092 十和田市西一番町10番27号
TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

東北卸団地職員研修会

東北卸商業団地連絡協議会の事務局職員研修会が、2月22日(水)に秋田市の協秋田卸センターで開催された。東北の各卸団地から14名の事務局職員が集まり、当組合からは西田業務課長と田中職員が参加した。

研修会では、はじめに秋田卸センターの堀川常務から同卸団地の概要と団地運営について説明があった。次に、秋田県中小企業団体中央会の畠山事務局長が相談事例を交えて組合法等について解説。最後に、茶道裏千家助教教授であ



東北卸団地事務局職員研修会

る(株)ビリーヴインの土田代表が「茶道・マナーから学ぶおもてなしの心」をテーマに講演した。

研修会後の懇親会では、各卸団地の現況や課題について活発な情報交換が行われた。

業務報告

主要事項

- 2月
- 2日▽組合員昼食会
 - 6日▽問屋町経営同友会第5回役員会
 - ▽県流通団地連絡協議会合同企業セミナー
 - 7日▽問屋町新年合同厄払い
 - 8日▽QOL健診
 - 10日▽県運営診断
 - 14日▽第3回事業委員会
 - 15日▽金融審査会
 - 16日▽マイナンバーカード出張申請受付
 - 17日▽第3回環境対策委員会
 - 21日▽第2回企画情報委員会
- 22日▽第3回労務対策委員会
- ▽問屋町支店長・所長連絡会第32回親睦交流会
- 27日▽第9回理事会
- ▽問屋町ドローン体験会
- ：問屋町ビジネススクール：
- 2日▽職場を活性化させるリーダーシップ
 - 9日▽ビジネス現場における交渉力
 - 14日▽決算書の読み方・活かし方(損益計算書編①)
 - 16日▽決算書の読み方・活かし方(損益計算書編②)
 - 21日▽決算書から作る目標管理セミナー

経済雑感

第二三五回

(株)ラインメール青森フットボールクラブ

代表取締役 榊 美樹

前号に引き続き、ラインメール青森F.C.の榊オーナーによる経済雑感をお送りする。

夢があります。

ラインメールを通じて都市の質を高める「クオリティ・オブ・ライフ」の動きを起こすことだ。我々の活動(戦績、社会連携)に感化された若者が家族と青森へ移住を決断し、同様のムーブメントが次々と起こる。スポーツを愛する優秀な人材が流入し、将来的には輩出する。地方分散志向のベ



(株)ラインメール青森フットボールクラブ
代表取締役
榊 美樹 氏

その時のチームの監督は本県出身者でありサッカー日本代表の柴崎選手であり、チームの主力は昨年のサッカードワールドカップで日本を沸かせた三笥選手。

それが実現した場合、地域に与える経済効果は非常に大きい。

を活かすことにより、一次・二次の波及効果が生まれる。青森は地理的条件や交通インフラの関係から観戦には宿泊が伴う可能性がある。宿泊が伴うと、観光・飲食は当然ながらセツトとなる。四季がはつきりし

2022年度Jリーグ(J1)の経済波及効果は約4597億円と試算されている。J1のカテゴリのみでこの金額であり、全カテゴリでの経済効果は計り知れない。勿論、都市型と地方型のクラブチームでは生み出される金額や手法も異なるが、地方型のクラブは地域の特色を活かすことにより、一次・二次の波及効果が生まれる。

2023シーズンのスローガンは「決意(青森一体)」です。熱い声援をお願いいたします。(完)

境建材株式会社

〒030-0131 青森市問屋町一丁目14番1号

本社 ☎(017)764-5581 F A X (017)728-7275
工事部 ☎(017)764-5585 左官材料・タイル専門 ☎(017)728-7266

新建材全般 タイル・タ 工務部	左官材料 タイル専門	内装工事 タイル工事 工事部	防水工事 防風工事 工事部	水回り工事 防風工事 工事部
-----------------------	---------------	----------------------	---------------------	----------------------

／明／日／の／設／備／を／考／え／る／

パッキン一枚からウォシュレット取付
TOTO和洋リモデル工法、アフターメンテナンスまで
当社へご相談ください

株式会社ムラバヤシ

〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8番27号
TEL (017) 738-4165 FAX (017) 738-1852

株式会社 小山 商会
青森出張所

青森市問屋町一丁目14-5
TEL (017) 728-5680 FAX (017) 728-5681
本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)
TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615
支店 仙台・東京・名古屋・大阪
営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波
千葉・静岡・京都・岡山・福岡
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

営業種目
総合寝具リース
病院用寝具
ホテル用サプライ
フードサービス

サービス付き高齢者向け住宅 県内24棟運営
シニアマンション・シルバービューア
高齢者の方に、明るく、清潔なバリアフリーの住居を提供し
心身ともに健康を維持、回復していただくことを支援しています。

有限会社ファイナンシャル・サポート
特定非営利活動法人・シャリテ (株)MT・Community

- 月額70,000～100,000
- 個室個室・専有面積12.5～14帖
- バス・トイレ・キッチン・収納・冷暖房・緊急通報装置完備
- 安心できる生活サポートサービス
- お一人お一人に合わせた介護サービス

青森市第二問屋町3丁目3番31号
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357
☎ 0120-934-741

青森公立大学で合同企業セミナー開催

県内の5つの卸団地で運営する青森県流通団地連絡協議会主催の春季合同企業セミナーが、2月6日(月)に青森公立大学で開催された。

今回のセミナーは1コマ40分で行われ、全4コマ開催して延べ92名の学生が参加。各卸団地から組合員企業16社が出展して学生に業界や業務の内容、働き方等について説明した。

参加した学生は同大学1階交流ホールに設置された企業ブースを巡り、メモを取りながら熱心に説明を聞き、「実

際に企業の方から直接説明を聞いて社風や仕事内容を詳しく知ることができ、いろんな企業に興味がわいてきた。これからの就職活動に活かしていきたい」と感想を述べていた。



合同企業セミナー

ドローンの操縦体験

2月27日(月)に、3回目となるドローン体験会を青森市はまなす会館体育館で開催し、組合員従業員ら10名が参加した。

体験会では国内有数のドローンパイロットである組合員のコクサイ通信特機(株)の中村社長が講師を務めた。同氏はドローン事業を専門とした「コクサイ無人航空機(株)」を設立し、ドローンを活用した電気通信設備点検や農業散布、TV・CM・プロモーション撮影の空撮など多方面で活躍する。



ドローン体験会

けたのち、実際に空撮等にも使用する大型ドローンを中村講師の補助のもと操縦。想像以上に繊細な操作が求められるドローンの操縦に四苦八苦しながらも、楽しく体験していた。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、昨年3月に新たに組合員となった伊藤ハムミート販売(株)青森営業所の越後所長にお話を伺った。

同社は、伊藤ハム(株)の100%出資子会社として昭和63年10月に設立。伊藤ハムグループの中核となる食肉部門において、北海道・東北並びに関東甲信越地方の営業・販売を担っている。

「当社は、伊藤ハムグループの価値ある安全、安心な商品でお得意先様の売り場やメニューをより魅力あ

ふれるものになりたい、その先のお客様の生活を『楽しい食卓』で豊かにしたいという思いで商品を提供しています。お肉の鮮度を保ち、お客様にスピーディにお届けするため全国に営業所やセンターを配置し、商品の保管時や配送時でも温度を含めた衛生管理の徹底を行っています」とアピール。

業界の現状について何うと「原材料価格や光熱費などの高騰、また輸入商品については円安により想定以上のコスト高となっており、経費削減に努めると同時に、生産性の向上を図り競争力・収益力の強化に努めなければならない

状況にあります」と語る。

新たな取り組みについて聞くと「グループでは、2023年度に牛肉処理カット施設が十和田市にできる予定です。国内の安定した食肉の供給を担うだけではなく、海外で人気が出ている和牛を輸出し、さらなる販売拡大を目指します」と力強い。

青森県の印象については「雪が多いイメージです。その雪を使ってさつぽろ雪まつりのような大規模なイベントを開催できれば、青森にもっと集客ができて発展していくんじゃないかと思っています。せっかく良いロケーションを持っているので、活かしてほし

いですね」と笑う。

問屋町については「高速道路のインターが近いので、交通の便や立地が良い印象です。ただトラックが多く走るためか、道路が凸凹しているのが残念です。春になって補修してくれたら嬉しいですね」と話す。

座右の銘は「継続は力なりです。何事も継続しないと意味がないと思っています。継続するとそれが習慣になり、当たり前になっていきます。継続して上手にいかない時は、改善してまた取り組んでいく。その繰り返しです」と締めくくった。

(44歳)

編集後記

長かったような短かったような冬がようやく終わりました。3月に入ってぐつと気温が高くなり、山のようにあつた雪がみるみる解けていくのを見ると、太陽の力の偉大さを感じます。さて、問屋町初開催となるQOL健診を実施しました。今回実施したQOL健診は、通常の健康診断とは全くの別物。骨密度や体組成、握力、唾液、立ち上がりなど、病気の発見だけではなく健康づくりの第一歩となるための啓発性、そして健診結果がその場でわかる即時性がポイントです。▼私は12月にQOL健診を受診したのですが、その時にシヨックだったのが野菜摂取量。カゴメさんが開発した「ベジチエック」は手のひらを乗せるだけで日頃の野菜摂取量を測定できる優れもの。基準値は7・0で、全国平均が6・0、青森県の平均は5・0とのこと(青森県の野菜不足が顕著です)。日頃から野菜を食べている「つもり」な自分も測定すると、結果はなんと5・2。全然野菜が足りてない悲し

▼弘前大学の中路先生に「何を食うと野菜ジュースを飲む」ということが効果的とのこと。さっそく野菜ジュースを購入し、そこから約2ヶ月、1日1本野菜ジュースを飲むことにしました。2月の測定結果は7・11なんととか基準値をクリアしました(笑)▼QOL健診で見事に生活習慣を改善していただきました。中路先生ありがとうございました。私以外にも足の筋力アップに励み入るなどいい影響が出ています。来年のQOL健診も楽しみです。(小田切)

建設工事の合理化を実現する

MARUI
丸井産業株式会社

〒030-0131
青森県青森市問屋町二丁目11-6
TEL 017-753-0101 FAX 017-728-0101



Coca-Cola Michinoku
Coca-Cola Bottling

本社
岩手県盛岡市中央通一丁目7番25号 TEL 019-613-6665(代)
青森営業部
青森県青森市第二問屋町三丁目4番12号 TEL 017-739-3511